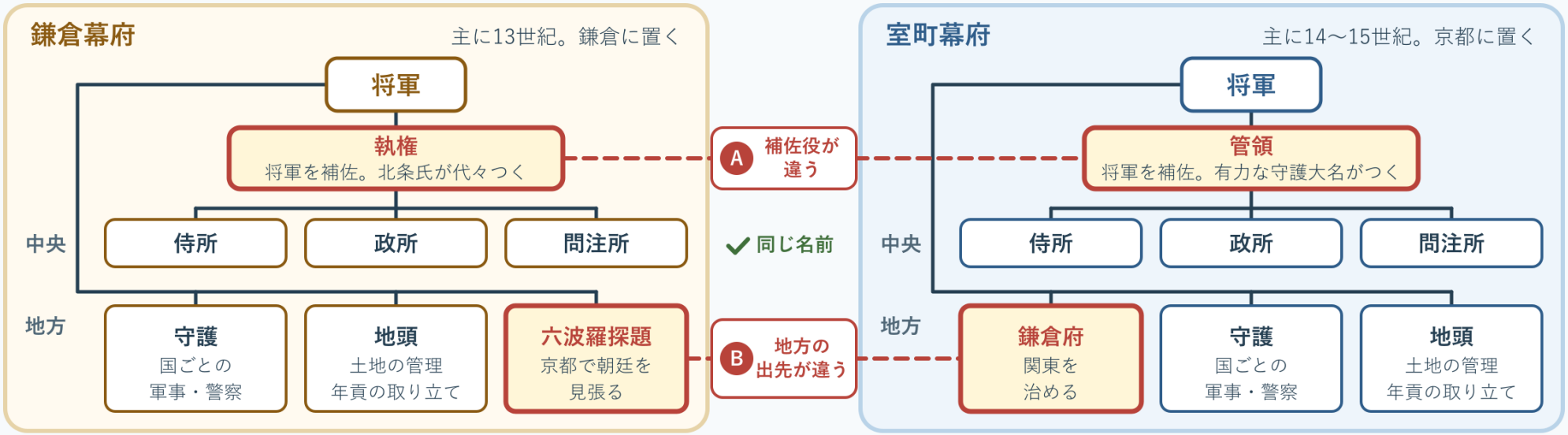
鎌倉幕府とくらべた室町幕府のしくみ

室町幕府のしくみは鎌倉幕府とどこが違い、守護はなぜ力を強めたのか



守護はなぜ力を強めたのか：守護から守護大名へ

1 守護

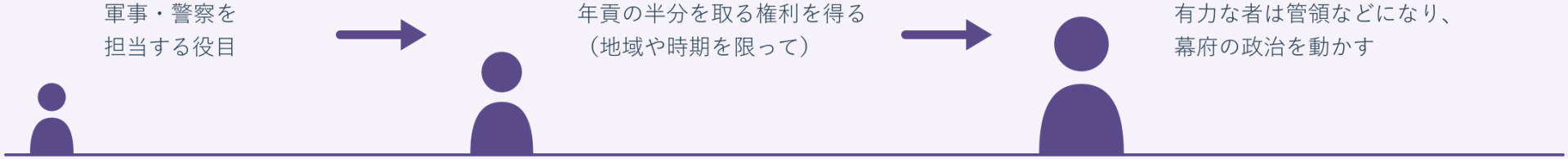
国ごとに置かれ、
軍事・警察を
担当する役目

2 南北朝の争乱の中で力を強める

国の武士を家来にする
年貢の半分を取る権利を得る
（地域や時期を限って）

3 守護大名

国を自分の領地のように治める
有力な者は管領などになり、
幕府の政治を動かす



大きな流れ：武士の力は鎌倉時代から室町時代へと地方に根づき、のちの戦国大名の時代につながる

人型の大きさは力の強まりを表す記号で、人数や実際の大きさではない

※ 基本のしくみの模式。役職の中身や力の強さは、時期や地域によって違う。人物は役割を示す記号。